

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第2年度分

1 事業者の概要

事 業 者 の 名 称	仙台中央タクシー株式会社		
市内代表事業所の名称	本社		
市内代表事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区扇町5丁目5-20		
主 た る 事 業	道路旅客運送業		
事 業 者 の 該 当 要 件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	○	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温 室 効 果 ガ ス 排 出 抑 制 の た め の 基 本 方 針	当社は、地球環境の保全に貢献するために、以下の基本方針に基づきエネルギー使用量等の削減に努めます。 【基本方針】 1. 事業を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みを作り、環境の保全に取り組めます。 2. 環境保全に関連する法規制を遵守します。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	2,330 t-CO ₂	基準原単位	4.307
	目標年度	2025 年度	目標排出量	2,200 t-CO ₂	目標原単位	4.07
			削減率	5.57 %	削減率	5.50 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	2,585 t-CO ₂	排出原単位	4.272
			削減率	-10.95 %	削減率	0.81 %
	排出量等の増減理由	2023年度においては、乗務員の採用強化に伴い、入社人数が大幅増（約60名）となり、本社、泉営業所共に稼働率が大幅に上昇（稼働率90%）し、（以前の稼働率は70%前後）タクシーの燃料となるLPGの使用率が増加した事が要因となる。				
	第2年度	2024 年度	排出量	2,732 t-CO ₂	排出原単位	4.283
			削減率	-17.26 %	削減率	0.55 %
	排出量等の増減理由	2024年度も引き続き、入社人数は増加となりましたが、併せて、小型タクシーの増車（ジャパンタクシーを計12台増車）を行い、本社・泉営業所共に、前年度比較すると、日々の稼働台数が増加し、その関係でタクシーから燃料となるLPGの使用率が増加した事が要因となる。				
	第3年度	2025 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
	排出量等の増減理由					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	42 %	目標年度	100 %
	第1年度	42 %	実施状況の説明等	乗務員の増加に伴い、車両の稼働率が高まった為、車両の点検、修理に関しては、重点事項として、取り組んでいた。しかしながら、環境性能に配慮した新しい車両の導入等については想定よりも進まず、燃費等の面では決して良い結果とは言えない状況となっている。

様式第2号別紙1

基本対策の実施状況	第2年度	42 %	実施状況の説明等	前年と同様に、乗務員の増加に伴い、稼働率は高く推移すると共に、ジャパンタクシー（ハイブリット車）の車両を12台増車。環境性能に配慮した車両へを導入し、燃費等が改善されることが想定される。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選 択 対 策 の 実 施 状 況	項目		実施状況
	環境性能の良い車両の計画的導入		一部実施済
	燃費向上のための装置等の計画的導入		一部実施済
	エコドライブの管理		実施済
	事業者連携による効率的な輸送推進		未実施
そ の 他 の 対 策 の 実 施 状 況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	廃棄物削減対策の実施	廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進 / ゴミ分別等の徹底 / ごみを減らす為の3R（スリーアール）の推進	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	業務において、車輛の待機場所を複数設けることにより、効率かる無駄な燃料消費の削減をしていく。	実施済